日本沙漠学会　第28回学術大会プログラム

場所：千葉工業大学東京スカイツリータウンキャンパス

大会概要

期日：2017年5月27日（土）～5月28日（日）

場所：千葉工業大学東京スカイツリータウンキャンパス

総会・研究発表会　：ルームA

ポスター発表会　：ルームB

公開シンポジウム　：CITシアター

理事会　：ミーティングルーム

開催スケジュール

5 月 27 日（土）		5 月 28 日（日）	
08:30～09:00	受付	09:00～10:00	研究発表会・セッション3
09:00～09:15	開会式	10:00～10:10	休憩
09:15～10:15	研究発表会・セッション1	10:10～11:25	研究発表会・セッション4
10:15～10:20	休憩	11:25～11:30	閉会式
10:30～11:30	研究発表会・セッション2	11:30～12:30	エクスカーション
11:30～12:30	昼休み		
12:30～14:00	ポスター発表コアタイム		
14:00～14:45	総会		
15:00～18:00	公開シンポジウム		
18:30～20:00	懇親会		

参加費

大会参加費　日本沙漠学会会員　：4，000円

学生会員　：2，000円

会員以外　：6，000円

（事前登録者については予稿集 1 冊含む）

予稿集　1 冊　2，000円

公開シンポジウム　無料

日本沙漠学会　第 28 回学術大会実行委員会

実行委員長　：矢沢勇樹（千葉工業大学）

連絡先　：〒275-0016　千葉県習志野市津田沼 2-17-1

千葉工業大学工学部応用化学科

TEL：047-478-0409

E-mail：jaals2017@it-chiba.ac.jp

懇親会費　：正会員：6，000円，学生会員3，000円

懇親会会場　：PRONTO　東京ソラマチ店

（東京スカイツリータウン・ソラマチ 1F St.ストリート）

【1 日目】口頭発表:2017 年 5 月 27 日(土)午前

セッション１（9:15～10:15）　座長：酒井裕司（工学院大学）			
NO	時刻	題　　目（○は発表者）	頁
O01	09:15－09:30	**天然腐植資材を沙漠地に用いる上での留意点** ○矢沢勇樹 千葉工業大学工学部・NPO 法人草炭緑化協会	
O02	09:30－09:45	**ジブチ国沙漠地帯における硬盤層の特性** ○鈴木伸治[1], 大山洋平[1,3], 田中　聡[2], 渡邉文雄[1] [1]東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科，[2]東京農業大学地域環境科学部造園科学科，[3]㈱鴻池組	
O03	09:45－10:00	**固定砂丘の成長過程における生長年縞の形成と層内に含有する小結晶粒子を探る** ○髙村弘毅[1]，Tashpolat Tiyip[2]，Muhtar Qong[3]，川野良信[4]，河野　忠[5]，小玉　浩[6] [1]立正大学名誉教授，[2] Xinjiang Univ.，[3]立正大学院卒・アメリカ在住，[4]立正大学地球システム学科，[5]立正大学，[6]国際航業㈱	
O04	10:00－10:15	**半世紀間における黄砂の地域別観測日数・比率の変化** ○真木太一 九州大学名誉教授・北海道大学農学研究院	
休憩：　10:15－10:30			

【1 日目】口頭発表:2017 年 5 月 27 日(土)午前

セッション２（10:30～11:30）　座長：渡邊三津子（千葉大学）			
NO	時刻	題　　目（○は発表者）	頁
O05	10:30－10:45	**ラクダの牧畜管理における家畜の個体識別と命名ー内モンゴル自治区アラシャー盟アラシャー右旗バダインジリン砂漠を事例にー** ○ソロンガ 千葉大学人文社会科学研究科	
O06	10:45－11:00	**モンゴルにおけるヒツジとヤギの資源選択性比較** ○川田清和[1]・高橋健吾[1]・Undarmaa Jamsran[2] [1]筑波大学，[2]モンゴル生命科学大学	
O07	11:00－11:15	**オイラトモンゴル人の野生植物の生活利用 ―新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州テケス県を事例にー** ○巴依尓塔(バヤリタ) 千葉大学大学院人文社会科学研究科	
O08	11:15－11:30	**モンゴル国カザフ人の民族文様の実践ー半乾燥地域におけるカザフ住居内部の事例からー** ○廣田千恵子 千葉大学大学院人文社会学府博士後期課程	
昼休み：　11:30－12:30			

【1 日目】ポスターセッション:2017 年 5 月 27 日(土)　終日～5 月 28 日(日)午前

ポスターセッション・コアタイム：12:30－14:00

【1 日目】総会及び学会賞授与式:2017 年 5 月 27 日(土)午後

総会　14:00－15:00

【1 日目】公開シンポジウム「☆(ほし)の沙漠に映された地球」:2017 年 5 月 27 日(土)午後

公開講演会	題　　目
15:00－15:05	**司会挨拶** 矢沢勇樹（千葉工業大学工学部）
15:05－15:20	**300 インチ３D 宇宙シアター**「宇宙 138 億年の旅　地球そして生命」
15:20－16:10	**千葉工業大学 PERC の今後のミッション** 和田浩二(千葉工業大学附属研究所惑星探査センター・副所長代行)
16:10－17:00	**隕石と流星の研究から地球と生命の成り立ちを考える** 荒井朋子(千葉工業大学附属研究所惑星探査センター・主席研究員)
17:00－17:50	**宇宙における生命を探る３つのアプローチ　一宇宙塵・泥火山・系外惑星一** 石丸　亮(千葉工業大学附属研究所惑星探査センター・研究員)
17:50－18:00	**おわりに** 矢沢勇樹（千葉工業大学工学部）

【2 日目】口頭発表:2017 年 5 月 28 日(日)午前

セッション３（9:00～10:00）　座長：藤巻晴行（鳥取大学）			
NO.	時刻	題　　目（○は発表者）	頁
O09	09:00－09:15	**ケニア国サンブル県における土壌の吸水度を用いた表面流出量推定の可能性** ○Kirui Samwell Kipkemoi，渡邉文雄，鈴木伸治，鶴巻拓哉 東京農業大学大学院農学研究科農業工学専攻	
O10	09:15－09:30	**植林実験サイトでの流出率観測結果および最適設計の検討** ○菅沼秀樹 [1], 星　元樹 [1], 高橋優樹 [1], 宇都木玄 [2], 高橋伸英 [3], 江頭靖幸 [4], 小島紀徳 [1] [1] 成蹊大学，[2] 森林総合研究所，[3] 信州大学，[4] 東京工科大学	
O11	09:30－09:45	**ADCP による流量測量結果を用いた水田の灌漑用水量の評価** ○丸山優樹 [1], 氏家清和 [2], Bouya Ould Ahmed[3], Cherif Ould Ahmed[3], 入江光輝 [4] [1] 筑波大学生命環境科学研究科，[2] 筑波大学，[3]ISET, Mauritania，[4] 宮崎大学	
O12	09:45－10:00	**ストーンマルチと局所撹拌耕耘を用いた節水農法の実証実験** ○實野孝久 [1,2]，浜部　薫 [2]，徳本家康 [3]，實野雅太 [4]，田島　淳 [4] [1] 大阪大学レーザー研，[2] 太陽エネルギー利用推進研究会，[3] 佐賀大学農学部，[4] 東京農業大学	
休憩：　10:00－10:10			

【2 日目】口頭発表:2017 年 5 月 28 日(日)午前

セッション４（10:10～11:25）　座長：石川祐一（秋田県立大学）			
NO.	時刻	題　　目（○は発表者）	頁
O13	10:10－10:25	**西アフリカ・サヘルにおける都市の生ゴミを利用した環境修復とその社会貢献** ○大山修一 京都大学アフリカ地域研究資料センター	
O14	10:25－10:40	**5-アミノレブリン酸の植林に対する効果** ○田中　徹 [1]，高橋　究 [1]，冨田啓治 [2]，泉　可也 [2] [1]SBI ファーマ㈱，[2]㈱Biomaterial in Tokyo	
O15	10:40－10:55	**ミャンマー中央乾燥地の灌漑地区における落花生種子の増産** ○藤本直也 NTC インターナショナル（国際協力機構長期派遣専門家）	
O16	10:55－11:10	**タイムラプス撮影を用いたユーカリ根の初期生長測定** ○鈴木誠一, 菅原一輝, 伊藤拓哉, 加藤　茂, 菅沼秀樹, 小島紀徳 成蹊大学	
O17	11:10－11:25	**落葉環孔性樹種における樹液流動特性の検証** ○依田清胤 [1], 安田　裕 [2] [1] 石巻専修大学理工学部，[2] 鳥取大学乾燥地研究センター	
閉会式：　11:25－11:30			

【2 日目】エクスカーション:2017 年 5 月 28 日(日)正午

エクスカーション:11:30－12:30

千葉工業大学が誇る科学技術をお楽しみください。同フロアーには，Area Ⅰ にロボット技術，Area Ⅱ に惑星探査研究の成果を応用した数々のアトラクションが展示されています。スタッフが皆さまを未来旅行に誘うことでしょう。

【1日目】

ポスターセッション：2017 年 5 月 27 日（土）終日（コアタイム：12:30－14:00）～5 月 28 日(日)午前

NO.	題　　目（○は発表者）	頁
P-01	**2014 年度および 2015 年度における日系企業のアフリカ進出動向** ○森尾貴広 筑波大学国際室	
P-02	**耕作放棄された谷戸田を囲む森林の機能性と今後の課題** ○竹内舞子 [1]，勝間田茜 [2]，矢沢勇樹 [2] [1] 千葉工業大学大学院，[2] 千葉工業大学	
P-03	**モンゴルの放棄農耕地における施肥処理が群落構造に及ぼす影響** ○髙橋健吾 [1]，川田清和 [1]，上條隆志 [1]，森　英樹 [1]，Undarmaa Jamsran[2] [1] 筑波大学，[2] モンゴル生命科学大学	
P-04	**三宅島の火山荒廃地におけるハチジョウススキの光合成特性に関する研究** ○張　秀龍 [1]，上條隆志 [2]，廣田　充 [2] [1] 筑波大学生命環境科学研究科，[2] 筑波大学生命環境系	
P-05	**乾燥年の乾草原における降雨前後 Stipa krylovii と Allium polyrhizum の個体レベルで炭素交換特性** ○胡　暁星 [1]，上條隆志 [2]，烏　云娜 [3]，廣田　充 [2] [1] 筑波大学生命環境科学研究科，[2] 筑波大学生命環境系，[3] 大連民族大学環境資源学院	
P-06	**コウライシバ（Zoysia matrella Merr.）による塩類集積緩和効果** ○杉浦総一郎 [1]，田中　聡 [2]，水庭千鶴子 [2]，高橋新平 [2] [1] 東京農業大学大学院農学研究科，[2] 東京農業大学地域環境科学部	
P-07	**ウガンダ国の灌漑農業の現状と課題** ○Denis Bwire，渡邉文雄，鈴木伸治 東京農業大学大学院農学研究科農業工学専攻	
P-08	**複数時期の衛星画像からみたサウジアラビア、ワディ・ファーティマの土地被覆変化** ○渡邊三津子 [1]，古澤　文 [2,3]，石山　俊 [4]，遠藤　仁 [5]，縄田浩志 [5] [1] 千葉大学，[2] 奈良女子大学共生科学研究センター，[3] 片倉もとこ記念沙漠文化財団，[4] 総合地球環境学研究所，[5] 秋田大学	
P-09	**西豪州荒漠地での植林地域における土壌化学性、炭素含有量及び地上部バイオマス量評価** ○赤城亮太 [1]，野澤　雅 [2]，庄司博紀 [2]，小川　顕 [2]，平岡由圭 [2]，菅沼秀樹 [3]，加藤茂 [3]，小島紀徳 [3]，酒井裕司 [4] [1] 工学院大学大学院，[2] 工学院大学工学部，[3] 成蹊大学理工学部，[4] 工学院大学先進工学部	
P-10	**津波塩害農地の除塩および土壌修復技術に関する研究（その３）冬期栽培野菜の成分** ○杉本英夫 [1]，南條正巳 [2]，菅野均志 [2] [1] 大林組，[2] 東北大学	
P-11	**ヨルダンにおける小麦栽培におけるシミュレーション灌漑の効果** ○藤巻晴行 [1]，坂口　巌 [1]，Vinay Nangia[2] [1] 鳥取大学乾燥地研究センター，[2] 国際乾燥地農業研究所(ICARDA)	
P-12	**ウズベキスタンのブドウ生産農家の収支分析：サマルカンド地方の事例研究** ○Sodikjon Avazaliyevich MAMASOLIEV, Atsushi CHITOSE, Motoi KUSADOKORO, Shiho KAGAMI, Yoshiko KAWABATA, Masaaki YAMADA Dep. International Environmental and Agricultural Science, Tokyo University of Agriculture and Technology	
P-13	**ウズベキスタンの野菜生産の社会経済性に関する事例研究** ○Elmurod Erkinovich BAYNAZAROV, Yoshiko KAWABATA Dep. International Environmental and Agricultural Science, Tokyo University of Agriculture and Technology	
P-14	**乾燥地植林による広域での水移動パターンの変化** ○髙橋優樹，三谷一太，横佩おさむ，菅沼秀樹，小島紀徳 成蹊大学	

P-15	**ヤナギを用いた荒廃農地の有効利用法に関する研究-AM 菌接種によるヤナギの生育促進の可能性ー** ○長澤昇汰[1], 佐藤萌[1], 早川　敦[1], 高橋　正[1], 栗本康司[2], 杉本英夫[3], 青木雄二[3], 日高　伸[4], 石川祐一[1] [1]秋田県立大学生物資源科学部, [2]秋田県立大学木材高度加工研究所, [3]㈱大林組技術研究所, [4](社法)日本土壌協会	
P-16	**ジブチ国 Kourtimalei 集水域における GETFLOWS を用いたイベントベース・シミュレーション** ○Fadoumo Ali MALOW, Sawahiko SHIMADA, Tatsuya HIROKANE, Hitomichi TOYODA, Ayako SEKIYAMA, Hiroyuki TOSAKA 東京農業大学大学院農業工学専攻	